

啓発



- 人材育成
 - ・中学生を巻き込んで防災に取り組んでいきたい
 - ・リーダー的な存在を育成していきたい(中・高生)

- イベント
 - ・三里体育会という団体が三里祭りなどイベントを行っていたが、今は活動が少なくなった
 - ・昔は活動している人がたくさんいたが、今は少なくなっている
 - ・地域のイベントがなくなってきている

- 災害後の対応
 - ・移転した消防の跡地を利用したらどうか
 - ・生き延びた後のモチベーションが大事である
 - ・命をどうつないでいくか考える必要がある

事前準備



- 避難訓練
 - ・昔は起震車の体験や避難訓練をしていたが、コロナ以降開催していない
 - ・率先して訓練をしてくれる人が欲しい
 - ・訓練など何かやるときの書類づくりが大変
 - ・新しい人を巻き込みながら避難訓練をしたい
 - ・備蓄品を災害前に使用して使い方を確認しておく(携帯トイレ等)

- 備蓄
 - ・避難した後備蓄等をどうしたらいいのかわからない(避難場所)
 - ・避難タワーに地区の人の分だけでも備蓄を置くための場所を確保しておきたい
 - ・仁井田神社の上の避難路の先にはトイレが備蓄されているが、他の避難路にも備蓄倉庫をおいてほしい(水、仮設トイレ、雨避けテント等)

防災拠点の整備



- 避難所の整備をして欲しい
 - ・避難生活できる拠点としてふれあいセンターを建て替えてほしい(学校の体育館での生活が厳しい人もいる)
 - ・避難場所や避難所で高知は寒さは耐えられるが、暑さ対策は必須となる

- 津波避難タワー・避難ビル
 - ・津波避難タワーが海側にあるが、海ではない方向へ逃げたい
 - ・壁も窓もない避難タワーで3日間も耐えられないため、避難ビルがほしい

- 避難路
 - ・年齢問わず、体が不自由な方でも歩きやすいように避難道の整備が必要である

事前復興まちづくり計画ワークショップを通して感じたことなど

- 地域のことについて
 - ・三里地区はいいところである
 - ・災害後も地域の繋がりは大事にしたい(元のコミュニティに戻りたい気持ちがあると思う)
 - ・三里地区は大きな開発が行われてきた歴史がある
 - ・今回の計画は三里地区の将来の開発を考えるものになっているが、将来のことはイメージが湧かない

- 防災について
 - ・まずは自分が避難をしないとイケない
 - ・漠然としていて実際に災害が起きてみないと分からない
 - ・住んでいる人だけではなく、働いている人の意見も大事である

- ワークショップのことについて
 - ・ワークショップで話し合ったことをどう地域に広めていったらいいかわからない
 - ・人数制限を設けずに町内会役員だけでなく、興味がある人に来てもらったらよかった
 - ・若い人の意見も聞きたいが、忙しすぎて難しいと思う
 - ・津波の心配ばかりで覚悟を決める会だと思って参加したが、第1回ワークショップで三里地区のいいところがたくさん出て希望が持てた
 - ・2回目以降には前回の振り返りがあり良かった
 - ・地域の色々な会を通してワークショップの内容を広めていったらいいと思う

その他たくさんのご意見をいただきました

●お知らせ

「地区別事前復興まちづくり計画(三里地区)」の計画書が作成できましたらホームページ上に掲載させていただきます。
過去のワークショップニュースもホームページに掲載しておりますので、ご覧ください。

●お問い合わせ先

高知市 防災対策部 防災政策課
事前復興まちづくり担当
TEL:088-823-9055
FAX:088-823-9085
Mail:kc-080200@city.kochi.lg.jp

高知市 事前復興 まちづくり ニュース VOL.3

R8.4.21

三里地区

事前復興まちづくり計画 第3回ワークショップ (仁井田地区)を 開催しました!

地域の方
14名参加

ワークショップでいただいたご意見のまとめ
意見交換3は2、3ページ、ワーク5は4ページです

3月19日(木)、三里ふれあいセンターで、三里地区事前復興まちづくり計画第3回ワークショップ(仁井田地区)を開催しました。意見交換3では今までの地域の方の意見を反映した「最終復興ビジョン」、「最終復興パターン」についての意見交換を行い、ワーク5では「災害が起きる前からできること」について、みんなでお話し合いました。



済 第1回 R7.8.27開催

- ワーク1 三里の良いところ・残したいもの、普段の生活で困っていること
- ワーク2 復興パターン2案について
- ワーク3 楽しくなるような未来のまちを想像する



済 第2回 R7.12.19開催

- 意見交換1 復興ビジョンについて
- 意見交換2 修正復興パターンについて
- ワーク4 速やかに復興するために必要なこと



第3回 R8.3.19開催

- 意見交換3 最終復興ビジョン、最終復興パターンについて
- ワーク5 災害が起きる前からできること



決定！ 三里地区の目指すべき姿=ビジョン

『海と大地と助け合い 災害に強く ずっと住みたいまち』

地元の産業を支え、海水浴場として親しまれる「海」と、彩り豊かな花や野菜を育む「大地」。この2つの恵みを大切にしながら、日頃の地域の「つながり」を力に変え、いざという時に「助け合う」ことで、災害に負けない強いまちをつくれます。
三里の良さを次の世代へつなぎ、誰もが誇りを持って「ずっと住みたい」と思える、温かい地域を目指します。

【決定の経緯】

- ▶ ワークショップ等で最も多くの支持をいただいた「案3」をベースに、次点の「案2」でご意見の多かった「災害への強さ」も取り入れ、皆様の想いを一つにしました。
- ▶ 三里の誇りである「海」や「大地」、そして大切な「助け合い」。子供から大人まで、誰もが分かりやすく覚えられこの言葉をつなぎ、私たちの目指すべき姿にしました。

ご検討いただいた案(前回お示したものの)

- 案1「資源」を主軸 『海・なりわい・歴史の魅力に溢れた 住みよい安心と絆のまち』
- 案2「防災」を主軸 『人・海・歴史が繋がる 災害に強く、住み続けたくなるまち三里』
- 案3「コミュニティ」を主軸 『自然と産業が調和し、人と地域が支え合う、安心を育むまち 三里』

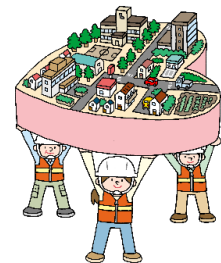
皆さまから出た意見

いいね！
・この復興ビジョンで良いと思う
・「海」と「大地」は外せない

次世代に向けたフレーズにしたい
・「ずっと住みたい」は、既に住んでいる年配の方の目線のように感じる
・子どもや一度外に出た人が「戻ってきたい」と思うような目線がほしい
・子供たちの目線で「住みたくなる」というフレーズにしたい

フレーズの追加
・「助け合い」の前に「地域の」など何か加えてはどうか

復興ビジョンが漠然としている
・「海と～助け合い」のフレーズが漠然としている



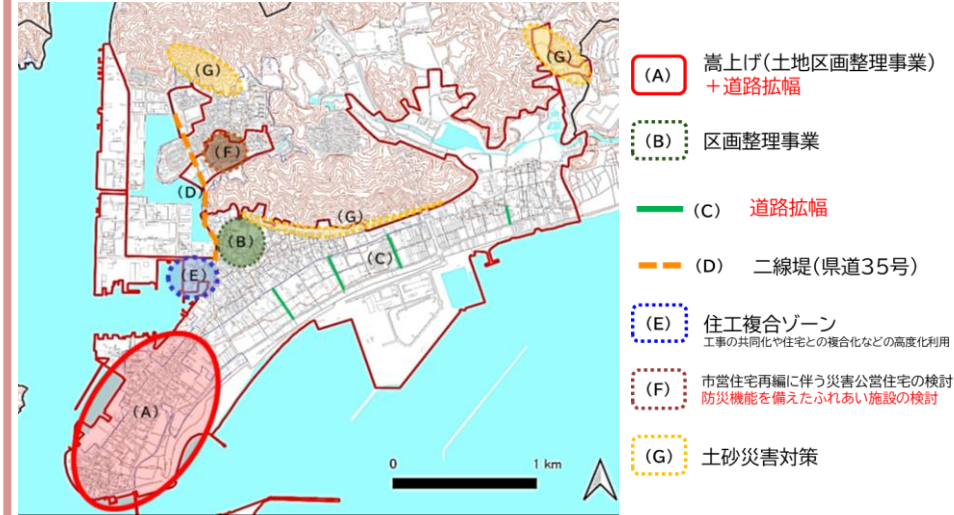
皆様と歩む、これからの未来

事前復興まちづくり計画の核となるビジョンにつきまして、多くの貴重なご意見をいただき、誠にありがとうございました。

皆さまの地域を想う熱い想いを踏まえ、検討を重ねました結果、本案『海と大地と助け合い 災害に強く ずっと住みたいまち』を最終的なビジョンといたしました。

このビジョンは、災害時に地域の復興を導く、私たちの指針として大切に受け継いでまいります。

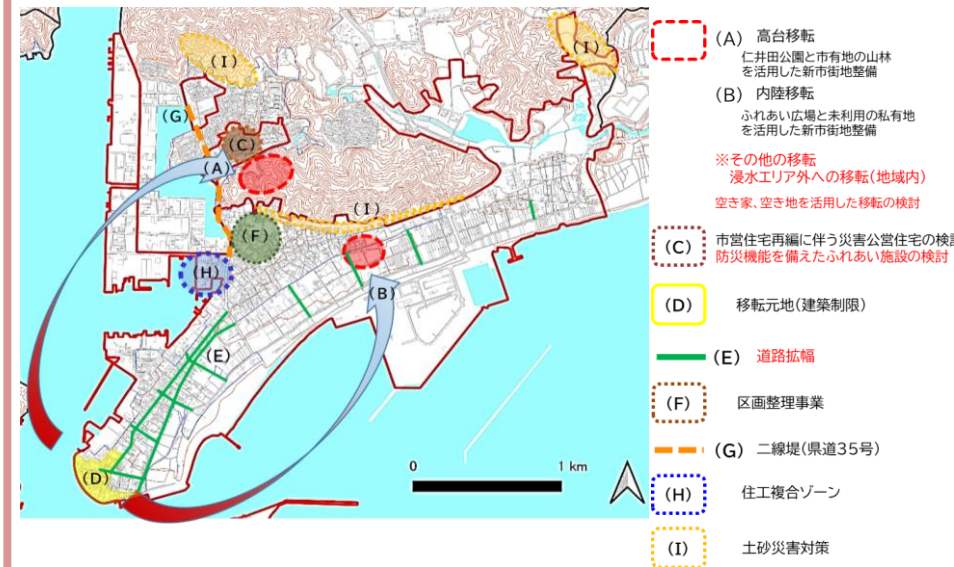
(最終案)嵩上げ案



<(A)の復興パターン>

1-A案(原案) 最大被害エリア 嵩上げ型	1-B案 地区一体嵩上げ型	1-C案 浸水エリア一体嵩上げ型	1-D案 地区道路ネットワーク 形成型
最大な津波被害想定地区の嵩上げ・土地区画整理	種崎地区全体を一体嵩上げ案・土地区画整理	種崎地区の浸水エリア全体を一体嵩上げ・土地区画整理 地区道路のネットワーク整備	最大な津波被害想定地区の嵩上げ・土地区画整理 地区道路のネットワーク整備
嵩上げ(区画整理事業) 標準	嵩上げ(区画整理事業) 標準	嵩上げ(区画整理事業) 市道 道路整備(4m) 標準	嵩上げ(区画整理事業) 市道 道路整備(4m) 標準

(最終案)移転対応案



いいね！
・遍路道は確実に残したい
残すためには 嵩上げがいいのではない

心配なこと
・嵩上げ、土地区画整理のイメージがしにくい
・嵩上げ・土地区画を行うのは被災前か被災後なのか分からなくなる
・嵩上げは現実味がなく、案として終わってしまうのではない
・嵩上げ範囲(1-D案)に現状80世帯程度住んでいるが、嵩上げ後に何世帯帰ってくるか心配

アイデア
・嵩上げ案のBとFとその間に挟まれた山一体で高台整備したらどうか

道路について
・道路が広がるのは良い
・現在の狭い道を広い道路にしてほしい
・災害前に道路整備してほしい

いいね！
・移転対応案の方が現実的ではないか
・事前に移転先を準備しておく慌てず行動できるのではない

心配なこと
・若い人は高台(旧土佐山など)やもっと住みよいところに移るのではない
・移転元地の人口は少なくなっている
・十津地区に公営住宅を建てる場合、種崎や仁井田地区の人が移転するとコミュニティが分断され、地区で特性も違うため、馴染めるか不安

アイデア
・住み慣れたところで住みたいため、三里地区内で移転先を一つ確保してほしい

その他意見

共通のこと

- ・嵩上げと移転の複合案など、色々なパターンを考えておく必要がある
- ・若い人の意見をどうやって取り入れるのが課題である
- ・復興は希望を持ちながら考えることが重要である
- ・児童数が減っているため、学校を統合した方がいいのではない
- ・地区外から来た人が長く住み続けてくれるような魅力が必要である

疑問

- ・予想以上の被害が出た場合はどう対応するのか
- ・個人負担がどれくらいかかるか知りたい

